



2011年 4月号

りっぷ ろーかる いんふおーめーしょん ペーぱー
L I P (Local Information Paper) とは……

ひらかたしめんはつ ふくし きょういく ぶんか かんきょう
枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの

じょうほう けいさい ちいきみっちゃくがたじょうほうし
情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。

うちのともくん②

まめちゃん作



大変な災害が起こりました。L I P も少しでも被災地支援に役立つ情報を載せていきたいと思っています。(L I P 編集局)

■ゆめ風基金 <http://homepage3.nifty.com/yumekaze/>

「ゆめ風基金では、この大災害で被害を受けた障害者に救援金を届けます」

障害者救援金送り先 「とうほく」とお書きください。

郵便振替口座 00980-7-40043 「ゆめ風基金」

■(財)日本自閉症協会が災害ハンドブックを掲載しています。

このガイドブックは支援者向けと本人・家族向けがあり本人・家族向けは自閉症だけではなく全ての子どもや高齢者にも対応していると思います。

<http://www.autism.or.jp/bousai/index.htm>

◆ [まんが] 「うちのともくん②」 ♪

◆ [上映会報告] 「香里団地に“爆弾”工場があったの？」 ♪

◆ [団体紹介] 「カフェ放送てれれ」 ♪

◆ [枚方の「共に学び共に育つ」教育は今(9)]

人間は知り合っていくのがおもしろい♪

◆ [L I P なる人々 ふたりめ] 「はじめまして、落合正弥です」

◆ 2010 年度 L I P 活動報告

◆ [ブログ連動連載 言いたい放題! アッキー28号] 「合格発表!」 ♪

◆ イベント情報

◆ 編集局より/L I P 配布場所/会計報告

「L I P 編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18 時以降) FAX: 020-4665-8668

郵便振替口座 00920-8-120259 (L I P 編集局)



3月19日（土）メセナひらかた会館にて、太平洋戦争中の枚方の歴史を語る「旧香里＜爆弾＞製造工場」映像作品上映会が開かれた。「こんな時だからこそ、過去の事実を『語り継ぐ』ということが大切」と主催者の挨拶で始まった上映会では、映像作品上映の後、当時女学生であった語り部二人のお話と質疑応答、交流会が行われ、約40人の参加者は70年近い過去へと一気にタイムスリップ。今の私たちにつなげられることは？ との思いで、会場は熱く一体化した。

今香里団地のあるところに戦前旧陸軍の＜爆弾＞製造工場が設けられていたことは、現在そ

香里団地に、「爆弾」工場があったの!?



当時を語る久保三也子さん（右）と森田隆子さん
親元を離れ、寮に寝泊まりし、昼夜交代の危険な作業に従事した。「孫と同じ思いはさせたくない。身体の続く限り、語り続けていく」。語り部の活動を続ける久保さんは、82歳と思えぬほど若々しい。

六〇数年前の女学生の体験談、今なおリアル



こに住む人々にもあまり知られていない。交通の便がよく、周囲に人家が少なく、山と谷が爆発事故の際にも誘爆を防ぐ地形となっている茄子作・中振の土地には、当時「日本一」とも言われた大爆弾工場が設けられていた。1939（昭和14）年「宇治火薬製造所香里工場」として開設されたのは、黄色い色をした爆弾、黄色薬の圧搾工場だ。戦争が進むにつれ、周囲の農家の女たちに加え、中学生や女学生も、昼夜12時間交代の過酷で危険な火薬製造の作業に携わった。そんな歴史を今映像で伝えようとしているのが、



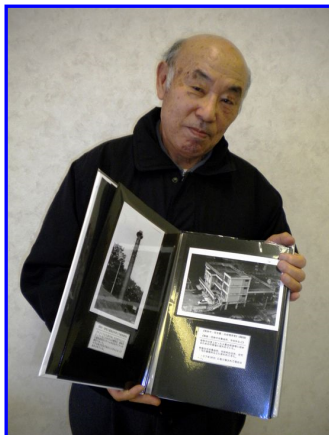
ひらかたNPOセンターの映像チーム 左から重村雅世さん、村田孝子さん、加堂妙子さん

員で大阪市内から連れてこられて工場で働いた旧制泉尾高等女学校の女学生の人たちの話を聞いた。「知らなかった地元の過去」に強い衝撃を感じ、聞いた話を17分の映像作品にまとめ、

昨秋同センターの映像祭典で上映したところ、「もう一度、友人知人とぜひ見たい」と大反響。今回の上映会開催へとつながった。同センターでは、4月からこの作品のDVDを無料で貸出できるよう準備中。映像チームは、更に続編を撮っていききたいと張り切っている。「過去の体験を語り合いながら、どんどんつながっていきましょう!」と、同センタースタッフの重村雅世さん。その呼びかけに答えるように、交流会では、続々と参加市民から質問や問いかけの声。「今の憲法のおかげよね! 守らなければ…!」休憩時間のトイレでも、初対面の同年代の人に語りかける女性の姿が見られた。

（L I P 編集局 豊高明枝）

香里団地に在住の福岡崇夫さんは、団地内に残る当時の建物や碑などを撮影している



ひらかたNPOセンターの映像チーム。「枚方の歴史を伝えたい」と考える中、『女学生の戦争体験』*という本に出会い、本の執筆者で学徒動

※『女学生の戦争体験—大阪香里＜爆弾＞製造所に学徒動員された乙女たち』（大阪府立泉尾高等女学校戦争体験を語る会編）：4年前に自主出版された同書は大きな反響を呼んで、現在在庫ゼロ。市内の各区図書館に寄贈されたので、図書館に行けば読むことができます。

ひらかたNPOセンターでは、広報紙やFMラジオなど、さまざまなメディアで、市民活動やNPO活動を応援してきました。ただし、それだけではどうしても伝えきれない活動も多くあり、映像なら伝えられる活動も広がるんじゃないかと考えていました。

そんな時に会ったのが、「映像発信てれれ」という団体でした。今から3年ほど前に、大阪市内の社会起業家カフェで、代表の下之坊修子さんに会い、

マイノリティの人が発表できる場を意識的に作りたかった」「誰でも気軽に表現できる環境を作りたかった」という思いから始まっており、およそマスメディアでは発表されない個性的な作品ばかりです。ショートムービーばかりを約1時間程度につなげて、いろんなジャンルを無審査で上映しているのも特徴です。

枚方でも、2008年から、映像制作講座と並行して、「モガジョガダイニング」「カボチャソース」「市

市民がつくった映像作品を、カフェで、自由に楽しみながら見る

「カフェ放送てれれ」



カフェ放送 (コミュニティカフェ ラ テール)



カフェ放送 (市民の広場ひこばえ)

「こんな映像を作りたかった」 「こんな作品なら、自分たちでも作れるかも」

てれれの映像作品を見て「これや！」ってひらめいたのです。「こんな映像を作りたかった」「こんな作品なら、自分たちでも作れるかも」という思いで、帰り道には、初対面にもかかわらず、必死で下之坊さんの手をつかみ、早速、映像制作講座の開催など、熱く語っていました。

映像発信てれれでは、「カフェ放送てれれ」という全国でも珍しい活動をしています。下之坊さんがヨーロッパに市民メディアの視察に行った際に、市民がつくった映像作品を、フランスのカフェで、自由にビールなどを楽しみながら見ている様子に影響され、2003年1月に始まりました。最初は、大阪、兵庫から始まり、現在では、京都、奈良、和歌山、広島、名古屋、東京など、どんどん全国に広がりつつあります。

上映される作品は、元々、下之坊さんが、「女性や

民の広場ひこばえ」「ラ テール」など、さまざまな会場でカフェ放送を行ってきました。「カフェ放送」では、ただ映像作品を見るだけではなく、制作者も参加しており、直に作品の制作過程やウラ話などが聞けたり、そこに集まった参加者同士が、さまざまな感想や意見を交流するトークコーナーが最大の魅力です。

この3月&4月号では、枚方から豊高明枝さんの初めての作品「自閉症のふーちゃんが行ったロンドン7日間♪」や、ひらかたNPOセンター映像チームの「語り継ぐ枚方の歴史 香里〈爆弾〉製造所」もエントリーされました。視聴者がどんどん制作者になっていく「カフェ放送てれれ」。皆さんもいっしょに映像発信してみませんか？

ひらかたNPOセンター重村雅世

枚方の「共に学び共に育つ」教育は今 (9)

これまで、障害のある子もない子も、地域の普通学校で「共に学び共に育つ」教育を大切にしてきた枚方市。ところが今度、初めて支援学校（養護学校）がつくられることになり、議論を呼んでいます。今こそ、枚方が育んできた「共に学ぶ」ことの意味を問い直したい。市民に思いをききながら、考えます。

「共に学ぶ」ことへの私の思い—①

人間は、知り合っていくのがおもしろい

これまでの連載で、枚方の「共に学び共に育つ」教育を切り開いてきたみなさん、かつての実践の様子をうかがってきました。今回からは、その後の世代の人たちにスポットをあて、「共に学ぶ」教育に対するそれぞれの思いを語っていただきます。

今回、お話しいただいたのは、多田頼子さん。知的障害のある長女の有里さんと21年間、共に歩み、その一方で、NPO法人りりあんの代表として「語る会」「りりあんカフェ」など、多様な人たちが出会い、共に生きる場を地域に広げてこられました。



多田頼子さん

いっしょにいるのが、あたりまえ

障害のある子どもの学ぶ場を考える時、地域のなかで障害のない子どもたちといっしょに学ばせるべきか？ それとも、障害に応じた特別な環境に入れて学ばせるべきか？ という議論があります。

これに対して、多田さんは「どちらが正しいとか、間違っているとかがいう考え方自体がおかしいと思う。（障害があっても、なくても）いっしょにいるのが、そもそも当然でしょう」と言います。

「自然界では、山も、木も、川も、いろんな生き物も、すべてがあたりまえにそこに存在しています。それなのに人間だけが、ここにいたらいいとか、いけないとか、区別や差別をしているのです」

そう考えるようになった原点は、有里さんが1歳半健診で発達の遅れがあると言われ、「親子教室」の療育支援に通っていた時の体験です。障害があるかもしれないと“特別”なまなざしを向けられ、「これができない」「遅れている」と、“専門家”から指導を受け続ける毎日。

「わずか1～2時間の発達検査だけで娘のことが判断されて、一人の人間として見てもらえないことに、私は深く傷ついていました」と多田さん。

救われたのが、小学校に上がる時。

「校区で『共に学び共に育つ』教育が定着していた

ので、『いっしょにいたら、いいやん』とあたりまえに受けとめてもらって、すごく楽になれたんです」

対等にもめたり、泣いたり、笑ったり

菅原小学校、長尾中学校と校区の学校に通った有里さん。障害児教育担当の教師が普通学級で支援につく「入り込み」という方式で、障害のないクラスメイトと共に学んでいました。からかわれたり、友だちとぶつかることもありましたが、「日々、もめたり、泣いたり、笑ったりしていたのが、いい思い出です」と、多田さんは当時を振り返ります。

たとえば、中学の時のダンス発表会。ダンスが苦手

だった有里さんが、放課後の練習に参加せずに帰ろうとすると、友だちが「帰ったらあかんやろ!」。しかたなく練習に参加しましたが、家に帰るとよく泣いていました。それが次第に楽しくなっていったようで、みんなと練習を重ねていくうちに、発表会当日は見事にダンスを踊ったのでした。

「本気で怒ったり、泣いたり、笑ったり、友だちも有里も、気持ちは対等だったと思います」

その時のクラスメイトとは、中学を卒業して数年たったころに同窓会をしました。いっしょにカラオケに行ったり、プリクラを撮りあったりしたことが、忘れられない思い出になっているそうです。

今も地域でばったり出会うと、「有里ちゃん、どうしてるん?」と声をかけられるし、メールのやりとりも続いています。

早期発見、早期対応は意味がある?

有里さんを通して「共に学び共に育つ教育」を観てきた多田さんは、現在の特別支援教育に疑問を投げかけます。

「前もって『障害のタイプや症状』を知り、配慮することを全否定はしないけれど、それに力を注ぎすぎると、その人を理解することから離れて固定化して見てしまうことになる。それは偏見や差別に結びつくのではないですか?」

人間って、知り合うことに醍醐味があると思う。白紙から始めて、この人は何が好きとか、何が嫌いとか、どういうことを考えて生きているとか、少しずつ知り合っていくって、たがいに育ち合っていくものじゃないですか。それは障害があろうとなかろうと、同じことだと思う。人と人との関係のなかで、障害の状態も変化して、未知の可能性が見えてくる。人は一生変化すると思っています。それがおもしろいんです」

文・写真/フリーライター・合田享史

LIPな人々♪

(ふたりめ)

LIPって毎月出てるみたいだけど、いったいどんな人たちが作ってるんだろう？ときどき耳にするそんな疑問にお答えしちゃおう！ というコーナーです。

今月は、献血回数通算777回を突破した大記録の持ち主、落合さんです。

はじめまして、落合正弥です。

LIPとのきっかけは、今から5年3ヶ月前の2006年1月29日でした……

現在も、当時も活動しているスペシャルオリンピックスと“とれぶりんか”のふれあいバドミントンとの交流があり、その配布もののひとつが、LIPで、そこで、僕は、過去の記事を見たいし、手に入れたいと思い、当時の代表方に連絡し、バックナンバーを手に入れたのがきっかけでした。



イラスト：とよたか

その記事で、数多くの人と出会いができました。

また、僕自身は、京都府八幡市の人間なのに……ある福祉会館に行くと、その日は、約束もしないのに……必ず、ご存知の方に会うのです。

最初の頃は、びっくりしていましたが、きょうは、誰と会えるだろうと楽しみにしています。

これからも、よい出会いがあるように、折り込み、配布と頑張りたいとおもいます。よろしくお願いします。

次回は、フリーライターで活躍されています合田享史さんが担当です。

お楽しみに！！

2010年度 LIP活動記録

■2010年度にLIPで紹介した団体や取り組み21・イベント情報79でした。新設置場所は3、応援団22団体・個人。あらたにマンガ「うちのともくん」も開始。連載中の「もぐらの目」がつけ書房新社から刊行♪

■枚方市機関紙コンクールで“サークル・同好会部門”企画賞受賞。通算4度目の入賞です。

■地域貢献NPOサポートファンド 2010年度枚方信用金庫賞獲得。

■財政的には昨年末廃刊のピンチがありましたが、ファンド獲得、小冊子の発行・販売など、収入を多角化することでなんとか乗り越えました。継続発行のために、応援団や広告でご支援願います。

■2011年度もLIPをよろしくお願いします♪

2010年度 LIP編集局 収支決算書

収入の部							支出の部						
年月	広告代	縮刷版	その他	応援団	助成金等	備考	郵送費	印刷費	プリンタ	封筒	名刺	その他	備考
1004		1500		9000	1		2640	3320					
1005				6000	6801	イエローシート	2440	5279					
1006		500		2000	1		2360	5279					
1007		500	2160	10000	1	共に学ぶ小冊子	2480	5280				3000	NPOセンター会費
1008				2000	1		2320	5311					
1009			540	4000	1	共に学ぶ小冊子	2640	5450		797			
1010	2000			1000			2320	5320					
1011	1000		8100	4000	6600	イエローシート フェスタ裏上げ	2880	5280					
1012			13600		30000	ブックレット ふれあいファンド	3040	4640				1000	ウィルフェスタ出店料
1101			3000 1050	2000	1	教本講座収入 LIPブックレット	3020	4640					
1102	12000		4910	9960	1		2660	4639		598		573	ゼロテープ
1103	1000		2410	2000	2		2560	4640					
小計	16000	2500	35770	51960	43410		31360	59078	0	1395	0	4573	年間収支
合計			149640							96406			繰越金
												53234	77622

ブログ連動連載

言いたい放題! アッキー28号

～高校に行きたいねん! 障害生徒の「お受験」編～

2011/03/24 合格発表!

午前 10 時から、公立高校後期日程入試の合格発表。
T の受験した N 高校は定員割れだが。

別室で介助の中学校教員にテスト問題を全文読み上げてもらう(代読)「配慮受験」で受験したけど、それでも点数は殆どとれていないであろう T。

「定員内不合格は、出さないで下さい」
「皆の中で学ぼうとする子どもの意欲をつみとらないで」と府教委には皆でお願い、教委もそうだと伝えてくれたそうだけど。それでも、果たして T は合格できるのだろうか? 昨夜から、さすがにドキドキ。今朝は、なおさらドキドキ。

「アッキー、今日はちゃんと昼食用意してよ～!」

小学校が終業式の下の子に言われて、パパの弁当と別に昨夜の豚汁とご飯を食べるように用意しておいたけれど、下の子の通知簿のこととかもどうでもいいほど、T のことで、気もそぞろ。

一人では心細いだろうから一緒に行くと約束してくれた S 先生と待ち合わせの JR 乗り換えの K 駅に待ち合わせ時間の 9 時 10 分の少し前に行くと、既に S 先生は来て待っていてくれた。普通電車を待って、N 高校最寄りの駅から歩いて 20 分弱。

N 高校正門に 9 時 50 分に到着すると、

地元で活動しておられる元教員の M 先生、X 先生が待ってくださっていた。
「あ、ありがとうございます!」とても心強い。

発表まで 10 分間待つ間に、ふらふらっと息子、まずトイレへ。ちょっと間をおいて呼び戻したが、またそのうち、ふらふら。いよいよ合格発表の紙が貼り出される時にも、いない!

「T ちゃん～～～!」

「まあ、いいから。お母さん、先に見てあげて!」きっと T だって、ドキドキしてる。見たいけど、見たくないのだ。そんな気がする……。

というわけで、母が代理で。

校舎の中からガラス越しにぱらりと貼られた合格者発表の紙を、見た。紙の上に 1 からずらっと並んだ男子の受験番号。定員割れだもん、全部数字が載っているに違いない。

101 番、出願締め切り半時間前に滑り込みで「配慮受験申請書」と配慮受験申請校の「変更届」の用紙をつけて提出した息子の番号だってある! に決まっている……!?

..

..

98

99

【アッキー自己紹介】 自閉症の上の子は、中学三年生。卒業後の進路をこれから決めねばなりません。いそいそ楽しく、彼なりの学びを豊かにするには、どんな学校に行けばいいの? いや、行けるのか!? 今日も親子で「泣き笑い」。どうぞ応援ください～!

100

その次に、空白があって、101 がいない! ない! 見えない!!

落とした! 落とされた!?

定員内不合格は出しませんよ、でも、最終判断は、高校側が出すので……。そこまで教委といえども口は出せないから、約束はできないのですよ、と。

その言葉、踏みにじるように、本当に、落とした～～～!!???

信じられない、と思って血の気が引いたが、ふと気づくと、窓枠の下になったところに、何やら見える。

あ、101 の数字の下半分が、ちょうど窓枠にさえぎられたその下にのぞいているではないですか……。

や、やった、やった、やったよ～!

ある～～～! 息子の受験番号が。

本当だよ、と窓の下から、何度も見ました。下半分の 101。

あるわ、本当に～～～!!!!!!

「ありました!」
「合格ね、やった～～!!」

S 先生と抱き合って喜びました～!

あー、脇から狙っていたカメラがフラッシュした。ま、いーでしよー、うれ

⇒⇒⇒ 続きを読む... <http://zz.tc/akkie>

イベント・サークル・ボランティア情報

【参加者募集】 枚方・地域連携勉強会 4月定例会
在宅での看取りについて学ぶ勉強会

在宅での医療・介護に取り組んでおられる方々の出会いの場です。医者・訪問看護・施設関係者・介護サービス従事者・家庭での介護者などどなたでも参加できます。

■日時 4月16日(土) 15時～17時

■場所 在宅ホスピス あおぞら (枚方市駅前)
サンプラザ1号館6階 TEL 072-844-4100

■話題提供者 医療法人 松徳会 居宅介護支援事業所
所長 渡辺俊夫 氏

連絡先 090-5167-4600 (医療ソーシャルワーカー 菊地)

「今、憲法は」 ～ 講演会のご案内 ～

日時: 2011年4月16日(土) 午後2時～4時

場所: ゆうゆうセンター 2階 体験学習室

(JR河内磐船駅歩2分または京阪河内森駅歩6分)

講師: 山本健治さん

参加費: 500円

主催: 憲法とくらしを考える会

連絡先: 072-821-9696 (辻)

★元高槻市議及び大阪府議をしていらっしゃったヤマケンさんに最近の社会情勢と憲法のおかれている状況について話していただきます。

イベント・サークル・ボランティア情報

音楽療法と体操による「心と身体健康広場」

★音楽療法士、木村久美子さんのリードで童謡・唱歌などを楽しく歌います。膝痛・腰痛をやわらげる体操もあります。

■4月10日(日) 13:30~15:00(終了後ティータイム)

12月まで毎月第2日曜日(ただし8月のみ第1日曜8/7)

■参加費:100円

■場所:楠葉野田区公民館

■主催:みんなでつくる広場「ちょこっと」

※申し込み:090-9281-3566(木村) 080-3916-9147(山本)

FAX:072-856-9439(ちょこっと)

樟葉宮春祭りにちなんで、樟葉宮みつけ市(手作り市)

■4月29日(祝) 10:00~16:00

■「ちょこっと」バザー10:00~15:00

リサイクルバザー:衣料・雑貨・食器などリサイクル自転車販売・修理もあります。

住所:楠葉野田2-30-8 電話:072-856-9439

【講演会】「日本を滅ぼす原発震災」
ー 巨大地震におびえる日本列島 ー

★写真展、チャリティバザーも行います

■日時:4月10日(日)

午前の部 9:30開場 10:00~12:30

午後の部 13:00開場 13:30~16:00[予約完了]

■場所:阿倍野市民学習センター

(大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3F 06-6634-7951 JR天王寺駅・近鉄あべの橋駅歩8分地下鉄谷町線・阪堺電車阿倍野駅すぐ)

■講師:広瀬隆

■料金:一般1,200円 ヒパク者・障害者・学生700円

★座席数が少ないので、必ず予約してください

■主催:ノーモアチェルノブイリ関西のつどい実行委員会

■後援:日本ウクライナ文化交流協会

※連絡先&チケット予約:自然環境センター&ストップ・ザ・もんじゅ(枚方市川原町1-5 Tel:072-843-1904)

【参加者募集】第4回ふれあいサイクルイベント
「淡路島サイクリングの旅」

「障害」を持った方や子どもたちも、ぜひ参加ください!

■日程:6月4日(土)~6月5日(日) <雨天実施>

■集合場所:ラポールひらかた横「関西空港行きバス停」
或いは、阪急茨木市駅前「高槻・茨木支援学校スクールバス停」 JR茨木駅南口「関空行きバス停」より、バスに
乗車、出発

■宿泊場所:「エトワール生石」兵庫県洲本市由良町由良
2065-1 Tel 0799-25-7035

■内容:「淡路島」サイクリング、観光、「障害」をもった
方々の就労施設参観、似顔絵体験、ゲストによるお楽しみ
体験、「参加者交流会」など。

■費用:大人(中学生以上)14000円、子ども11000円(小
学生)、幼児5000円(1泊4食、うずしお観潮船「日本丸」
乗船<2000円>、傷害保険など諸費用を含む)~但し、集
合地点までの交通費は別~

<参加費の徴収は当日にさせていただきます>

■参加申し込み・問い合わせ:090-6370-6244(大島) また
は、oshima921@yahoo.co.jp

*参加申し込み締め切り5月7日(土)。バス利用の関係で
55名まで。(人数オーバーの場合、抽選。少数の場合は申
し込み期間を延長)締め切り後のキャンセル料は、大人2000
円、子ども1000円。

■主催:サイクルボランティア・ジャパン(CVJ)
青い鳥ことばの会

■後援:洲本市 財団法人「淡路島くにうみ協会」

第7回ティーサロンパキスタンと故郷フンザ

■日時:4月6日(水) 10:30~12:30

■スピーカー:シェール アハマド ジャン氏

1980年12月パキスタン フンザで生まれる。首都イスラ
マバードで日本語を習得。2005年10月パキスタン北部大地
震が発生。2006年アジア協会アジア友の会からパキスタン
被災地支援活動に出向いた時に現地ガイドとして活躍。
2007年来日、2011年3月、二度目の来日中。

パキスタン北部にある「桃源郷」と謳われ、「長寿の里」
として知られるフンザ。長い雪深い冬があげると春には杏
の花、夏には緑と山々の風景、秋には紅・黄に染まった木々
と四季の美しい景色が展開されます。宮崎駿の映画「風の
谷のナウシカ」の風の谷のモデルにもなったといわれています。

■会場:全労済大阪本部共済ショップ枚方

枚方市駅南口より歩4分枚方郵便局隣り 宮村第3ビル3階

■定員:20名

■参加費:500円(茶菓代・アジアへの支援金)

■主催:社団法人アジア協会アジア友の会枚方地区会

※申込み:072-859-3004(吉田)

『カフェ放送てれれ』

カフェ放送てれれとは、ドキュメンタリーやアニメなどのショート作品を
約1時間つないで、カフェや喫茶店、市民活動センターなどで隔月で上映。
今回の3・4月号では、枚方市民の作品が2作品エントリー。是非お近く
の会場に足を運んでください。

詳しくはこちら → <http://www.terere.jp/>

4月の枚方での上映会場

4月27日(水) 19:00~

カボチャソース(牧野下島町)

LIPは、次の場所に置かせていただいています。

枚方市

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [招福南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティカフェ ラ テール [西禁野 1-3-27 禁野口バス停前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [長尾町 6-39-15 lilian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シヤル [南楠葉 1丁目 2-16 くずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ たこやき・おこのみ けんちゃん [大峰南町 7-1 スーパーワカバ内 072-859-4155]
- ★ 街かどデザインハウス 藤阪愛逢 [藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 楠葉店 [楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ヘアーサロンかむら [長尾東町 3-1-4 072-859-1601 (予約優先)]
- ★ ソーイングの店 みなよし [香里ヶ丘 3-11-3-4 072-854-0756]
- ★ 喫茶&アンティークショップ Squirrel (スクワール) [宗谷 1-1-1 072-859-2475]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203 号室 072-856-9177]
- ★ 割烹 千鳥 [岡東町 12-13 ひらかたさんぽろ B1F 072-843-8114]
- ★ WAVE34 (ボウリング場) [田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアースタジオばべば [南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所 (市民活動課・環境総務課・人権政策室) [大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ (財)枚方市文化国際財団 [岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 食育ステーションまきの [牧野本町 2丁目 19-2 072-397-2111]
- ★ 社会福祉法人 心愛 心学塾作業所 [大峰元町 1丁目 21-5 072-859-9194]
- ★ 紅茶専門店 VIE [南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャノース [牧野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人ハートネット [村野西町 1-27 072-805-4373]
- ★ クッキー工房おれんじはようす [交北 3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 全労済大阪府本部 共済ショップ枚方 [大垣内町 2-10-4 宮村第三ビル 3F 072-804-5550]
- ★ 健康・福祉プラザ 助さん・たくさん [大峰元町 1-1-1 072-858-8565]
- ★ エステのお店 ジョセフィン・じま [牧野阪 1-23-5 牧野駅前デパート 2F 072-851-8727]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・ミディ [堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ マイウェイひらかた ワーク草笛 [藤阪天神町 3-1 072-808-2031]
- ★ ミュージック・ケアハウス「花音」 [川原町 3-1 クラウンビル 4階 072-841-8822]
- ★ たかはま歯科医院 [津田駅前 2丁目 17-1-108 072-896-1180]
- ★ 渦潮バーカリー楠葉店 [町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 枚方市野外活動センター [穂谷 4550 番地 072-858-0300]
- ★ 社会福祉法人くみ会「清水園」 [津田 873-2 072-896-1600]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [車塚 1-1-1]
- ★ 三代目たくちゃん ピーコ [牧野阪 2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [牧野阪 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [牧野阪 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ NPO法人 パーソナルサポートひらかた [中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [岡東町 24-10 アイエス枚方ビル 3階 072-841-2411]
- ★ MogaJogaDining 枚方宿 [堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [宇山町 4-8 072-866-5667]
- ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設「ほむす」 [大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ ぶらっとホーム・すかまひかし [藤阪東町 3-1-11 072-859-5005]
- ★ とくふうホーム [大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [牧野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ みんなでつくる広場「ちよこ」 [楠葉野田 2-30-8 072-856-9439]
- ★ スパレイ枚方南 [津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ 本とカフェ Benedetta [町楠葉 1-6-25 寺山ビル 2F 080-6115-8133]

その他のほか

- ★ 大阪府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
- ★ 龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター [京都市伏見区塚本町深草 67 075-645-2047]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町費田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ 福山すこやかセンター内 ボランティア活動センター [福山市三吉南 2-11-22 084-928-1346]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市御明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]
- ★ 寝屋川市立市民活動センター
- ★ フレッシュバーカリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ ヘアーサロンおおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024 (予約優先)]
- ★ たこやき屋 中角 [交野市倉治 3丁目 52-1 072-891-4022]
- ★ レストラン ジュリア [交野市私部 3丁目 11-3-2 072-891-2288]
- ★ NPO法人 ゆいむ(結夢) [交野市私部 7丁目 12-58 072-810-7880]
- ★ 作業所クローバー [交野市郡津 5丁目 9-3 072-894-4822]
- ★ えんであら村作業所 [交野市天野ヶ原町 2丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産所施設 ミルキウエイ [交野市天野ヶ原町 2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所 市長公室 [交野市私部 1丁目 1-1]
- ★ きさいち植物園ファンクラブ事務局 [交野市私市 7-19-14 072-894-0840]
- ★ わくわく科学館 [交野市私市 6-10-2 080-3819-7292]

移動配布所

- ★ ファンバルクイナ音楽隊 一歩前出張音楽隊一
[funbal@mail.goo.ne.jp 090-6055-8312]

いつも応援ありがとうございます！

LIP 応援団

安部晴代さん

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
77622	前号から繰り越し
700	LIPブックレット1売上
2200	共に学ぶ小冊子売上
2	利子
1000	応援団
▼2400	郵送代
▼4640	3月号印刷代
74484	計 (次号へ繰り越し)

★東日本大震災、たいへんな状況で呆然としていました。今は原発がなんとか冷えてほしいと祈るような毎日です。今後、少しでも被災地支援に役立つ情報があれば、LIP紙面にも掲載していきたいと考えています。

★LIPは市民が書き、市民が作る情報紙です。ご意見・ご感想・投稿など、いつでもお待ちしております。(w)

表紙下段イラスト：平井由恵
7ページイラスト：まめちゃん



「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索